



鶴居村

議会だより

発行 鶴居村議会
編集 広報調査特別委員会

議会は村民の皆さんと村政を結ぶパイプ役です。

日本で最も美しい村議会 スタート



新議員紹介

第2回定例会
一般質問
第2回臨時会
委員会活動
読者の声



新しい議会がスタート

— 議員の役職決まる —



5月9日（第1回 臨時会）
議長に松井宏志氏
副議長に大津泰則氏を選出

就任のご挨拶

議長
松井 宏志



副議長
大津 泰則



この度不肖私、議員皆様のご推挙によりまして、再び鶴居村議会議長の要職に就くことになりました。

誠に身に余る光栄でございます。

ける次第でありますので、何卒皆様方の手厚いご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

次に理事者各位に申し上げます。

私は、本村議会議員として5期20年間勤めさせていただきましたが、浅学非才でありまして、その器でないことをよく承知いたしているものであります。ここに皆様のご推薦を受けましたうえは、一身を挺してそのご厚志にお報いする覚悟であります。

尚、議会運営につきましては、不偏不党・公平無私
の立場を堅持いたしますことを、ここにお誓い申し上げます。

議会運営委員長

- 委員長 吉田 保博
- 副委員長 東 隆行
- 委員 佐藤 吉人
- 委員 及川 満浩

議会広報委員会

- 委員長 大津 泰則
- 副委員長 佐藤 吉人
- 委員 及川 満浩
- 委員 松井 洋和

議員会

- 会長 秋里 廣志
- 副会長 及川 満浩
- 幹事 松井 洋和

議会選出監査

- 監査 秋里 廣志



総務 常任委員会



委員長
松井 廣道
当選 5 回

- ① 今回（統一地方選挙）の選挙で当選し、新しい気持ちで村、村民そして産業振興、社会福祉の為にしっかりと見える活動を！
- ② 音楽（聴く）
- ③ 特になし
- ④ 鉦路地方林活議連副会長



副委員長
秋里 廣志
当選 3 回

- ① 自立した村の更なる発展の為、村民の声を行政に届けたい。
- ② 我流の菜園づくり
- ③ 秋里廣衛（祖父）
- ④ 鉦路広域連合議会議員



委員
松井 宏志
当選 6 回

- ① 一人では不可能なこともみんなで力を合わせる事で可能性が広がる。
- ② 読書、パソコン
- ③ 松井鍋三郎
- ④ 鉦路町村議会議長会長



委員
佐藤 吉人
当選 1 回

- ① 私のスローガンは「福祉環考」（ふくしかんこう）です。
- ② 資格取得
- ③ 吉田松陰
- ④ 鉦路北部消防事務組合議
会議員



委員
松井 洋和
当選 1 回

- ① 十年後、二十年後も鶴居村が輝き続ける為に四年間頑張ります。
- ② 読書
- ③ 坂本竜馬、尾田栄一郎
- ④ 鉦路公立大学事務組合議
会議員

自己紹介

- ① 議員活動の抱負
- ② 趣味
- ③ 尊敬する人物
- ④ 広域議会関係

常任委員会の名称、委員定数及びその所管

常任委員会の名称、委員の定数及び所管は、次のとおりとする。
総務常任委員会 5 人

- (1) 総務、税財政に関すること。
- (2) 財産、公の施設に関すること。
- (3) 出納に関すること。
- (4) 民生、福祉に関すること。
- (5) 保健衛生及び生活環境に関すること。
- (6) 国民健康保険事業に関すること。
- (7) 介護保険、医療に関すること。
- (8) 学校教育及び生涯学習に関すること。
- (9) 他の委員会に属さざること。



産業 常任委員会



委員長
武藤 清隆
当選 3 回

- ① 日本一充実した子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉の充実に取り組み、住民にやさしいまちづくりをめざします。
- ② 旅行、道内の道の駅めぐり、現在 4 割程度訪問中
- ③ もちろん福沢諭吉、昔から足を向けて寝たことはありません
- ④ なし



副委員長
東 隆行
当選 2 回

- ① 有害駆除、防火対策、農業、福祉環境問題、高齢化、少子化対策に取り組み
- ② 山菜取り、狩猟
- ③ 父親
- ④ 農業委員、釧路広域連合議会議員



委員
大津 泰則
当選 4 回

- ① 自分の「議員力」のアップは勿論の事、議会という組織の責任をしっかりと果たしたい。
- ② 読書、アイスホッケー
- ③ 伊東良孝
- ④ なし



委員
吉田 保博
当選 2 回

- ① 鶴居村の発展と村民の皆様への思いを村政に、議員活動に全力で取り組み
- ② カメラ
- ③ 吉田茂
- ④ 釧路北部消防事務組合議会議員



委員
及川 満浩
当選 1 回

- ① まず議会制度、村政を学習し、村民の要求実現の為にがんばります。
- ② 読書（主にミステリー、SF等の娯楽小説）
- ③ E・P・ドラッカー
- ④ 釧路北部消防事務組合議会議員

自己紹介

- ① 議員活動の抱負
- ② 趣味
- ③ 尊敬する人物
- ④ 広域議会関係

常任委員会の名称、委員定数及びその所管

常任委員会の名称、委員の定数及び所管は、次のとおりとする。

産業常任委員会 5 人

- (1) 農業に関すること。
- (2) 畜産に関すること。
- (3) 林業に関すること。
- (4) 商工観光に関すること。
- (5) 自然環境に関すること。
- (6) 土木、建築に関すること。
- (7) 上下水道に関すること。
- (8) その他産業、建設に関すること。



報 告

- ▶ **平成22年度鶴居村一般会計繰越明許費繰越計算書について**
村有住宅新築事業をはじめ、10件115,868千円を次年度に繰越する。
- ▶ **平成22年度鶴居村水道特別会計繰越明許費繰越計算書について**
幌呂簡易水道計装設備設置工事 16,000千円を次年度に繰越する。

条例の改正等

- ◎ **鶴居村税条例の一部を改正する条例の制定について（専決処分）**
附則に「東日本大震災に係る雑損控除額等の特例」「東日本大震災に係る住宅借入金等特別税額控除の適用期限特例」の2条を加える
- ◎ **鶴居村立診療所条例の一部を改正する条例の制定について**
文書料・診断料を値上げする改正であります。
- ◎ **村有林間伐産出材の処分について**
契約先：鶴居村森林組合 場所：上幌呂 樹種：カラマツ 数量：2,068,579^m³
金額：10,710千円
- ◎ **鶴居村固定資産評価審査委員会委員の選任について**
委員に八木澤祐二氏を選任（P15）

補正予算

- ▷ **平成23年度鶴居村一般会計補正予算について**
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 27,632千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3,971,642千円とする。
- ▷ **平成23年度鶴居村介護保険特別会計補正予算について**
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 1,047千円を追加し、歳入歳出予算の総額を250,547千円とする。

質 疑

Q：診療所の文書料、診断料の大幅値上げに至る背景を詳細に？

A：長期間料金の改定を行なっていなかったが、現在の診療報酬点数を考慮するとやむを得ない改定であり、周知には万全を期します。

Q：今回の診療所料金の値上げは全てレセプトの対象ですか？

A：レセプトではありません。診療所単独の事業です。

Q：ふれあい農園の醸造用ぶどうの試験栽培は夢のある取り組みですが今後は？

A：本村の気候に適するか試験栽培ですが、ワインには5～7年かかります。

Q：村民プールの屋根部分の補正計上の詳細は？

A：既存施設の再利用予定部分が利用できない事が判明したためです。

Q：災害の危険回避マニュアルの配布時期は？

A：全世帯配布しますが、7月中旬頃になります。

Q：学校の長期休業期間中のスクールバス増便について詳細に？

A：下幌呂、下雪裡地区の通学生徒の増加に伴い、患者バスの空き時間に部活用スクールバスとして臨時運行します。





第2回臨時会

第2回臨時会が5月9日に開催され、報告1件、議案6件が審議され、原案通り可決承認されました。

◎株式会社鶴居村振興公社 経営状況の報告

- ◎専決処分承認
 - ・鶴居村国民健康保険条例の一部を改正する条例
 - ・鶴居村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
 - ・平成22年度鶴居村一般会計補正予算
- ◎工事請負契約
 - ・地域優良賃貸住宅建築主体工事
- ◎監査委員の選任
 - ・鶴居村監査委員に秋里廣志氏選任（P15）
- ◎平成23年度鶴居村一般会計補正予算

株式会社 鶴居村振興公社

◎平成22年度 事業経過報告

主要事業である指定管理業務のパークゴルフ場並びに運動広場部門の入込客数及び収益は減少する結果になりました。どさんこ牧場は乗馬部門が前年を上回り、酪楽館は新製品等の販売が概ね順調であります。

◎平成23年度 事業計画

東日本大震災による影響が懸念されるところではありますが、お客様に喜んで利用して頂けるよう、細心の配慮をしながら取り組んで参ります。

損益計算書

自 平成22年4月1日 至 平成23年3月31日（当期累計期間）

科 目	金 額	
【売上高】		
公社運営売上等	156,094,709	156,094,709
【売上原価】		
期首棚卸高	5,045,370	
公社管理運営部門原価	133,066,309	
期末棚卸高	△ 3,867,200	134,244,479
売上総利益		21,850,230
【事業管理費】		20,333,719
営業利益		1,516,511
【営業外収益】		
受取利息	60,770	
雑収入	1,147,743	
退職給与引当金取崩益	173,450	1,381,963
【営業外費用】		
退職給与引当繰入損	△ 3,586,023	△ 3,586,023
経常利益		6,484,497
税引前当期純利益		6,484,497
法人税等		902,300
当期純利益		5,582,197

質 疑

- Q 運動公園内の「わくわく館」の利用及び運営状況、また、利用時の取り決めなどについて伺います。
- A 「わくわく館」は原則土・日開催で、希望者主体ということで詳細な取り決めはなく、今後利用形態・方法については一定程度明確にしたい。
- Q 「酪楽館」の管理委託事業—製造販売・体験指導について両立できるよう今後抜本的検討を!
- A 産業課・酪楽館スタッフと共に協議し、検討しております。
- Q 貸借対照表中、①機械装置の減額について ②未収金について
- A ①償却の為、減額。②時間的ズレからくるもので、未収金はありません。
- Q 新年度の具体的な事業計画は検討されているのか、又、関係団体等の協議の場を設けて観光振興を目指すべきと思いますが。
- A 緊急雇用対策制度を利用しつつ、ソフト面からの改革を試してみたい。又、観光協会等とも連携を図り、意見を広く取り入れたい。
- Q パークゴルフ場について、利用者のアンケート等をとって、活用したら良いのでは。
- A アンケートの実施をもって、利用者の拡大に向けて検討したい。
- Q 震災義援金について、町村会50万円・飯館村（美しい村連合）20万円ということですが、もう少し積極的な支援があっても良いのではないかと。
- A 町村会で取り決めたことであり、全体のバランスを考えてやむを得ないと考えます。



一般質問

村政のここが聞きたい

7人の議員が14項目の質問

質問・答弁ともに要旨要約して掲載しました

地域防災計画について

状況等に変化があれば修正を加える

想像を絶するような災害が一瞬におこった東日本大震災が発生しました。鶴居村は今迄大きな災害もなく、比較的安全で住みやすい土地だと言われて来ました。しかし、大きな地震の可能性が高いとか、温暖化により気候の変化が起こり非常に強い台風が来たり、今まで経験したことのないような強烈な大雨が降る可能性が高くなって来ているとも言われています。

いつ来るともしれない災害に対して、わが村の現行の地域防災計画はいつ策定され、将来の災害に備えた計画になっているのか、課題や改定するような事項はないのか伺います。

秋里議員



日野浦村長

鶴居村地域防災計画は平成19年3月28日付で北海道知事との協議が終了しています。



備え有れば憂いなし



危機回避マニュアル

将来に備えた計画となつているのかとお尋ねですが、過去の災害を参考としながら現在の状況あるいは将来発生するであろう災害も予測しながらの計画となっております。

しかし将来の災害を予測するのは大変難しいところであり、その状況等に変化があればその都度北海道と協議のうえ修正を加えてまいりたい。

また課題や改定の必要性については現在北海道が津波予測図の見直しをすることから、村においても軽微な見直し作業があると考えています。

また大雨時のハザードマップは作成済みであり、災害用の衛星携帯電話は、役場と消防に各1台ずつ計2台配備しております。

■あなたの避難場所はどこですか■

緊急避難場所	
鶴居小学校	グラウンド
村民広場	(球技場)
鶴居中学校	グラウンド
総合センター	前庭
幌呂小学校	グラウンド
幌呂中学校	グラウンド

避難所	鶴居小学校	下幌呂コミセン
	総合センター	上幌呂コミセン
	鶴居中学校	下久著呂コミセン
	幌呂小学校	中久著呂コミセン
	幌呂中学校	下雪裡コミセン
	幌呂改善センター	茂雪裡コミセン
	下幌呂小学校	支雪裡コミセン



佐藤議員

現時点での行政方針に対する自己評価は

自己評価は控えさせていただきます

さらに豊かな自然と運動した活気のある村実現の為に、更なる交流人口の増加に

水道などの基盤整備構築、

日野浦村長の掲げた2期

目のスローガンとして「小さくてもキラッと輝く活力に満ちた村づくり」を

の中で、基幹産業酪農畜産の振興発展、福祉、産業、教育、インフラ整備事業で

ある道路や公

営住宅、上下

水道などの基

盤整備構築、

さらに豊かな自然と運動した活気のある村実現の為に、

更なる交流人口の増加に



キラッと輝く村

る活性化を目指したいとの方針成果について、任期4分の3を終了した現時点で、この行政方針に対する自己評価について、どのような感想をお持ちかお聞かせください。

日野浦村長

私の2期目のスローガンの狙いとするところについて一点目は基幹産業酪農畜産の経営安定と発展です。本件に関しては独自の酪農振興策については優先して取り組んできたところでもあります。

二点目は子育て支援の強化です。少子化時代ですが、様々な子育て対応をしております。

三点目は情報化時代に対応した高速情報網の整備です。次年度からは宅内サービスを開始する予定です。最後にありますが、私自身

高校通学バスへの父母の負担軽減、利便向上を図れないか

補助対象路線の基準を満たさなくなり実施困難

佐藤議員

高校通学バスについては、

過去、「村営バス運行はできないか?」又、「通学者父母への負担軽減を図れないか?」や「運行経路変更で(帰り)利用者利便を図れないか?」

など各種の質問をされておりますが、いずれも実施困難との返答です。改めまして父母への負担軽減を図れないか、伺います。

日野浦村長

定期券を値下げして運賃収入を減少させると乗車密度を低下させる事による補

道路改良について

現状での維持管理を継続

佐藤議員

補助対象路線の基準を満たさなくなった場合、釧路市と

本村で全額負担となり、実施困難であります。

①村内下久著呂田中畜産へ通じる私道(約400メートル)ですが村のデイサービスセンターに通所されておられる方もおりますので、福祉の点からも村道昇格とは言わないまでも、年に2回程砂利搬入やグレーダーでの均し方ができないでしょうか。

日野浦村長

一点目の私道については、管理するものにおいて自ら整備することになります。

二点目については、今後とも現状での維持管理と、冬期間の除雪を今後とも行っています。



教育の明日をつなぐ通学バス



情報通信基盤整備の運営と利活用は

総合的な管理部署を設置し万全な体制で取り組む

武藤議員



システム」の利用で議会中継、高齢者の安否確認、買い物弱者への対応がで

③「IP告知

平成24年4月より供用開始が予定されている情報通信基盤整備事業について次の三点について伺います。
①運用管理する担当課は？
②更なる利活用策を検討する委員会を立ち上げるべきだと思いますがこの点について。



IP端末機をより身近に

いかに伺います。

日野浦村長

①総合的な管理部署を次年度に向けた役場の人事機構体制の中で検討する。
②まずはIP端末機器の操作に慣れてもらう事に重点を置き、その後検討委員会の在り方を考えたい。
③議会中継は可能、安否確認については十分な検討を必要とします。
買い物弱者への対応は機能的には難しいが、可能かも含めて検討したい。

脳ドック検診に取り組めないか

内部で慎重に検討、まずは保健師に相談を

武藤議員

近年、脳に関わる疾病で入院、或いは最悪な場合は命を落とすという実態が非常に多く発生している現状があります。

検診により相当数大事に至る前に発見、処置できるこのことですが、多額の費用が掛かる事から検診が進まない実態にあります。
住民の大切な命を守るため村として何らかの対応ができないか伺います。

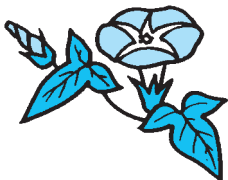
日野浦村長

村としては脳ドック検診について、今後管内、道内の実施状況を踏まえ、対象者、検診費用の助成額や委託機関等を内部で慎重に検討したい。



命を守る脳ドック

まずは村の保健師に相談してほしいと考えます。



鶴居村女性団体連絡協議会の皆様
松井会長始め16名



●傍聴席●

傍聴席から一言

幌呂市街 渡辺 章子

今回で傍聴は3回目です。

新人議員さんが入って若返ったので、どうか考えで取り組んでいくのか、期待しているし関心があったが、皆堂々としてました。

又、花づくりを通して人づくりに関心があるが、行政・議会に対しては、もっとネットワーク作りをして住民一人一人を巻き込んで、町づくり・景観づくりに積極的に力を注いでいただきたい。



及川議員

災害対策について

村民がどの地域においても安心安全な体制を提供したい

福祉避難所の確保、災害時
要支援者の実態把握、訓練
状況等、村立診療所の支援

- ①避難所にお
いての備蓄品
について
- 救援物資の備
蓄状況、民間
との協力体制
耐寒装備、停
電時体制等に
ついて
- ②行動マニユ
アルが制作さ
れているのか
避難時の行動
体制の確保に
ついて。
- ③介護の必要
な避難者への
対応について

福祉避難所の指定はあり
ませんが、実質ほのぼのセ
ンターと考えています。そ

- ④下雪裡コミュニテイセン
ターの対応について。
- ⑤防災計画について
防災計画会議の実態と、
実施計画及び計画変更の是非
について以上伺います。

日野浦村長



各地の避難場所を確認しましょう

体制、民間施設の実態把握
について。
④耐震化工事の進捗状況に
ついて
⑤防災計画について
下雪裡コミュニテイセン
ターの対応について。
防災計画会議の実態と、
実施計画及び計画変更の是非
について以上伺います。
①備蓄品は総合センター及
び消防備蓄庫にて集約し、
毛布等、保存食、救助活動
用資機材、救急用品を備蓄
済み。なお懐中電灯等は検
討。停電時体制は協議中で
あります。
②行動マニユアルは作製さ
れておりませんが、必要性
は十分認識しておりますの
で、他町村の整備状況、内
容を参考にしながら検討し
ます。
③福祉避難所の指定はあり
ませんが、実質ほのぼのセ
ンターと考えています。そ
して定期訓練を実施し対象
者も把握済みです。
診療所はもとより釧路市
等の病院の連携も考えてお
ります。
④下雪裡コミュニテイセン
ターは新築、改築を含め地
域住民と懇談する予定です。
当面は総合センターを避
難所とする様に検討する。
⑤一部避難所の設置場所等
の軽微な見直しが必要と考
えています。

TPP交渉の対応について

従来同様に農業団体等と歩調を合わせ対応

及川議員

撤退要求のための行動予定
について伺います。



牛もTPPが
気にかかる

日野浦村長

独自試算は困難ではある
が道の試算を基にすると酪
農生産額が72%縮小、酪農
家戸数が20戸に減少するこ
とになります。
また垂幕等の周知活動も
検討します。

保育所の保育時間の延長および
受け入れ年齢の変更について

未満児保育の実施は困難

及川議員

保育時間の
延長、ゼロ歳
から3歳児未
満児の受け入
れ計画がある
のか伺います。



子供たちの笑顔が
こぼれる保育園

日野浦村長

現在、園児68名
中25名が時間外保
育を利用している。
未満児保育は施
設の増築、あるい
は新築が必要で実
施は困難であります。



「村づくり異業種交流セミナー」の開催について

十月下旬に開催を予定しております

松井議員



で開催されています。
その目的は「村内の各種
団体の構成員等が村の現状

私は「村づくりは人づくり」だと考えています。これからも鶴居村が輝き続けていくためには、この「人づくり」がとても重要なテーマになると思っています。そんな中、2月と3月に2日間「村づくり異業種交流セミナー」が鶴居村主催



みんなで知恵を出し合って 異業種交流

このセミナーは2日間で延べ45名の方々が参加して

日野浦村長

や将来展望についてグループ討議を行い、今後、各業種が連携した村の活性化のための取り組みが行われることを目的に実施する。とあります。大変すばらしい企画だと思います。今後について伺います。

参加された皆さんが地域の課題に対して真摯に向き合い、今後どのように解決していくべきか、また話し合いから見出された課題についての意識の共有や村の将来像を自ら描く機会になったことから、セミナーを実施した意義があったものと思います。今年度も10月下旬から11月上旬の開催を検討しております、より充実した内容にすべく準備を進めています。地域が持続的に発展する原動力となる「協働による村づくり」の一層の推進が図られるものと思えます。

「村づくりは人づくり」

－鶴居を担う子供たち－

協働

リーダーシップ



バランス



平成23年6月11日・12日開催の「鶴居小学校・幌呂小学校・下幌呂小学校」の運動会より



吉田議員

**自治体クラウドへの参加は
内部検討を行っているところ**

り低コストにしたい住民にとっ
ても、インターネットで行
政サービス関連の申請が増

道は、市町
村が独自に管
理する行政情
報を外部の
データセン
ターに集約す
る「自治体ク
ラウド」を試
験的に始めま
した。
コンピュー
ターシステム
を共同運用し、
自治体の財政
負担軽減策と
して期待され
ており、個別
に管理するよ

日野浦村長

える等利便性向上に繋がり、
業務効率化や経費節減のメ
リットはあると思いますが
村長の考えを伺います。



改良が望まれる現在の電算システム

各自自治体において独自に
導入し、カスタマイズや保
守・維持管理など大きなコ
ストとなっている電算シス
テムに関する経費の削減を
目的とし、自治体クラウド
センターにおいて、ソフト
開発や保守などのすべての
業務を行い、各自自治体は必
要なシステムの使用料と通

**鹿に対する交通安全対策を
交通安全啓発の強化を図る**

吉田議員

鹿の道路横断により衝突
する交通事故が村内でも多
くあります。
暗くなるとどこに鹿が居
るのか分からず急に飛び出
してくる、気づいた時には
急ブレーキをかけても間に
合わず事故を起こした話を
耳にします。

日野浦村長

村長の考えを伺います。

信費のみを負担するという
ものです。
自治体クラウドのメリッ
ト・デメリット、移行に向
けた問題点もあります。本
村の電算システムは10年以
上経過している機器もあり
内部で検討をしているとこ
ろです。

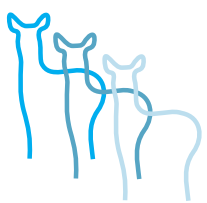
獣道のように所を横断
し事故も同じ場所で見起さ
ることが多いようです。
このような場所に夜でも
判る様な看板、警戒標識で
ドライバーに注意を呼びか
ける事も必要だと思いますが



可愛いけど・・・困ってます

にも要請し、鹿の飛び出し
注意を含む交通安全啓発の
強化を図ります。

現在村内には道道釧路・
鶴居・弟子屈線に12基、国
道274号線に1基の動物
飛び出し警戒標識の設置が
あるのみですので関係機関





大津議員

機構改革について

分かりやすい組織機構を目指します

平成22年6月の議会において、機構改革の質問をさせて頂きました。

その時、村長の答弁では「住民課の体制は重要な課になっておりますので、早急に、この体制を十分考えたい」と云われましたが、住民課の体制は何ら変わって

ておりません。

基幹産業を担当している産業課においては課長補佐

がおりませんし、教育委員会においては生涯学習課長を教育長が兼務しております。

私が言いたいのは、職員が士気に影響を及ぼさないのか、一職員に業務が集中しないか心配するからでありお考えを伺います。

日野浦村長

本年3月の予算委員会において「住民課だけのことでなく、他の課との人員のこともあり、将来を見据えた場合少し時間を頂き、1年程度の余裕を頂き方向を決めたいとの答弁をさせて頂きました。

産業課長補佐の不在や教育委員会における、生涯学習課長を教育長が兼務している状況についても、今後の機構改革に向けて緊急に行なった人事異動であります。

委員会で申し上げた通り1年間程度を目途に機構改革を行いたいとお答え致します。

ましたが、平成24年は私の任期満了の年であります事から、実施時期を明確に指示することは出来ませんので、ご理解願います。

広域の避難場所の確保について

積極的な支援活動を行います

大津議員

3月11日に、東日本大震災が発生し、地震の被害もさることながら、津波により尊い人命が失われたところであります。

今回、津波の影響範囲は5kmと言われておりますが、釧路沖において発生した場合、津波においての本村での影響は考えられるのか伺います。

また、親戚や友人知人が沿岸地域に住まわれております。



機能的な職場でサービス向上



いざという時の広域避難場所に

閉校跡地や村有地を提供できる旨の回答を致しております。又、今後「釧路定住自立圏」の構成市町村においては、広域的な防災項目について検討されていきます。

そこで遠方の方も入れる仮設住宅を建設できる広域避難場所を是非指定して頂きたい。

釧路沖大地震が発生した場合、津波による鶴居村での影響については、確かな情報はありませんが、今回の河川の遡上距離は、新釧路川で11km(岩保木)の遡上が確認されました。広域避難場所の指定についてであります。本村でも、北海道からの調査に基づき「仮設住宅の設置可能な土地について」

日野浦村長

そして、村長から管内に向けて、その情報発信をして頂きたい。

委員会活動

産業常任委員会

●所轄事務調査の実施

1. 調査項目
情報通信基盤整備事業について

2. 調査日時

平成23年6月1日

3. 出席委員

全員

4. 場所

役場庁内1階会議室

5. 内容

(1) 調査方法

山田産業課長、小原情報推進係長より「鶴居村情報通信基盤整備事業」について、これまでの整備状況と本年度事業内容等の説明を求めました。

(2) 調査・結果

今回説明を受けた「IP告知システム」は現在各家

庭に設置されている防災無線に替わるもので、各家庭にテレビ電話型機器が設置されます。現在、委託業者が各家庭に伺い説明をし、平成24年4月供用に向け順調に準備が進められているとの説明を受けました。

当委員会では供用開始後の運営管理体制の在り方を早急に検討すべきと思いますが、まず村民に使用方法を周知することが重要です。そのうえで更なる活用策を検討するための有識者検討委員会を組織すべきと考えます。また、さまざまな活用策を広く村民に求め、その意見を取り入れ推進することを願います。

●継続調査の実施予定

- ① エゾ鹿被害対策について
- ② 観光事業の推進について



所轄調査中の産業常任委員

総務常任委員会

●所轄事務調査の実施

1. 調査項目

議会の活性化について

2. 調査日時

平成23年6月24日

3. 出席委員

全員

4. 場所

白糠町

5. 内容

(1) 調査方法

平成22年に制定された白糠町議会基本条例について白糠町議会事務局より説明



所轄調査中の総務常任委員

を受けました。
(2) 調査・結果

議会改革の一環として白糠町にて議会基本条例の調査に行なってきました。

議会基本条例は平成18年に空知管内栗山町が全国で最初にこの条例を策定しました。

① 議会報告会

② 請願・陳情者の意見陳述

③ 議員間の自由討議

が必須条件です。

しかし、「拙速する条例制定には慎重を期し、十分な学習や条例制定後の検証も

行う必要がある」と対応いただいた廣橋白糠町議会事務局長のお話でした。

当総務常任委員会は常に住民の意見を聞いて活動できる議会活性化を心がけ、村政が住民の意思、意見と違う方向に進んでいないかを監視しうる機能を議会、議員が発揮するための「議会改革」に務め、そのための調査、勉強会の開催を今後も継続します。

議会運営委員会

●実施予定

- ① 次期定例会の会期日程等 議会の運営に関する事項
- ② 会議の会議規則、委員会 条例等に関する事項
- ③ 議長との諮問に関する事項



北海道町村議会議員研修会

7月4日、札幌コンベンションセンターにおいて、平成23年度北海道町村議会議員研修会が開催され、議員全員が出席し研修をしてまいりました。

『今後の政党政治の行方』と題して東京大学教授の御厨貴氏、『今後の日本経済展望』と題して経済評論家の内橋克人氏の2名から講演をいただきました。

御厨氏は、現在の民主党政権下、現在の政治状況は2大政党制の危機であるとし、安倍元首相就任以後は一党政権の短期化をもたらし、このことが常態化しつつ、今後は小中規模の政界再編を繰り返し流動的に推移すると予測しました。

内橋克人氏は、今後の雇用維持、食糧維持政策はローカル・アジェンダ・セッティング（地域政策措置）が成すべきタスクであるとし、F（食糧）、E（エネルギー）、C（介護）の自給圏の確立がその解決策であると提言されました。



研修会場内



研修会場入口

北海道町村議会議員研修会に伴う視察研修

このたびホクレン副会長に就任された瀧澤義一氏（JA釧路丹頂農協組合長）を表敬訪問してまいりました。

また道議会にて予算特別委員会を総務、産業常任委員会に分かれて傍聴しました。



第1分科会の総務常任委員



第2分科会の産業常任委員



鶴居村 茂雪裡
秋里 廣志
昭和17年8月13日生
(新任)

鶴居村 監査委員



鶴居村 鶴居東6-12
八木澤 祐二
昭和14年11月1日生
(再任)

鶴居村 固定資産評価
審査委員会委員

選

任

村議会の動き

- 5月2日 議員協議会
議員会総会
- 5月9日 第2回臨時会
- 5月16日～18日
町村議会議長・副議長研修会
- 5月20日 第1回釧路北部消防事務組合
議会臨時会
- 5月22日 釧路北部消防事務組合議会
総合演習
- 6月1日 産業常任委員会
広報委員会
- 6月8日 議会運営委員会
- 6月14日～15日
第2回定例会
- 6月20日 鶴居村植樹祭
- 6月21日 第2回釧路広域連合臨時会
- 6月21日 広報委員会
- 6月24日 総務常任委員会（白糠町）
- 6月27日 広報委員会
第1回釧路公立大学事務組合
議会臨時会
- 7月4日～6日
全道議員研修会（札幌）
- 7月8日 広報委員会
- 7月11日 新任議員研修会（釧路）
- 7月13日 広報委員会
- 7月19日 広報委員会

「光陰矢の如し」

大山 尚 良



鶴居村にお世話になり24年が過ぎ、この間12年もの長きにわたり議会活動をさせていただき

ました。この事は村民皆様の温かいご指導とご協力の賜物と思い、心から感謝を申し上げます。

非才な私にご協力いただき、曲がりなりにもその任を全うしました事に重ねて心から厚く御礼を申し上げます。

さて、平成12年「地方分権一括法」制定以来、「自己決定・自己責任」が重視され、地方の時代となりました。そんな中、平成20年10月鶴居村は、「日本で最も美しい村」連合に加盟しました。失ったら2度と取り戻せない、そんな日本の農山村の景観や環境・文化を地域で守り保護しようと言うのがこの会の目的であります。

よく、よそから来た人に「鶴居はキレイだ」と言われます。

特に自治会が、環境整備や美化活動に積極的に取り組み、季節には種々の花々が咲き誇り、道行く人の目を楽しませてくれます。

日頃のご労苦に敬意を表します。

私も、「ボランティア同志会」という会の一員として今年も道道53号線沿いの、桜の枯れ木の除去と鶴居市街植樹帯の添え木の撤去作業を行いました。

今後も仲間と協力をしながらボランティア活動を続けていきたいと思っております。

議会は、村民と村政を結ぶパイプ役であり、議会が果たす役割は大なるものがあります。

今後とも、村の発展と村民の幸せのため、議員皆様のご活躍を願っております。

あとがき

今回の「議会だより」から、委員長が8年振り、あとは新人議員3名と新鮮なメンバーで4年間議会広報活動を行いますので、よろしくご指導の程お願い致します。

紙面づくりについては、写真にある通りパソコンにより編集を行い、見やすい紙面づくりを目指してまいります。

また、今回から一般質問につきましては、1議員1ページを使用し、余白の部分には傍聴された方のご意見や、村の行事などを掲載してまいりますので、皆様の議会に対するご意見等多数お寄せ頂きたいと思っております。

これから4年間、議会活動を余す事なく掲載し、そして、村民の皆様が読みや

議会だよりに対する ご意見・ご要望を お寄せ下さい!!

(議会事務局 64-2116)

広報調査特別委員会

委員長	大津 泰則
副委員長	佐藤 吉人
委員	及川 満浩
委員	松井 洋和



すい広報誌づくりに努めてまいりますので、ご指導・ご協力をお願い致します。